

与野東中学校

平成29年度与野東中学校
研究推進計画図

小・中一貫教育
「育てたい子ども像」
～学習・あいさつ・
時間を柱として～

学校教育目標

『希望を実現する生徒』～学べ・磨け・輝け～

目指す生徒像

学べ・主体的に学習に取り組み、自らを高める生徒 / 自ら考え、正しい判断で行動できる生徒
磨け・心身を鍛え、何事にも挑戦する生徒 / 凡事徹底に努める生徒
輝け・思いやりをもって人とかかわる生徒 / 言動に責任をもち、未来を切り拓く生徒

<研究主題>

豊かな関わり合いを通して、主体的に学ぶ生徒の育成

～小・中一貫教育を基軸にして～

～ICTの効果的な活用と、アクティブ・ラーニングの工夫改善による指導と評価の一体化～

研究仮説

ICTを効果的に活用し、アクティブ・ラーニングによる指導を充実させることにより、豊かな関わり合いが増え、主体的に学ぶ生徒が増えるであろう。

研究の柱

(1) 本校が研究するアクティブ・ラーニング

①話し合い活動における取組

話し合う内容がぶれないための手立て及び評価についての研究を進める。

生徒の学習意欲を高める(アクティブ・ラーニング)評価

②授業時の目標把握とまとめの活動の工夫

目標把握のために、どうやって子どもに伝えるか。

また、まとめの活動をどのように行うかの研究を進める。

(3) ICTの効果的活用(キャッチフレーズ)

どのような時に、どれぐらいの時間で、どのようにICTを活用することで「わかりやすい授業」の実現にむけて研究を進める。

(4) 小・中一貫教育

①与野東中学校区「育てたい子ども像」を策定する。(平成30年度)

②小・中学校で3部会を設定する。(学習・あいさつ・時間)

・学習では、授業における話し合い活動における留意点や方法等

・あいさつでは、小・中のあいさつの仕方や留意点等

・時間では、授業開始前後の取り組みや決まり等

の情報交換を行い、与野東中学校区「育てたい子ども像」につなげる。

(2) アクティブ・ラーニングにおける評価方法

教科	方法	評価の視点
国語	ワークシート	自分と他者の考え方が比較できる。
社会	ワークシート (教科統一)	自分⇨他者⇨自分という考えの経路を明確化した。
数学	レポート用紙 (教科統一)	自分と他者の考え方が比較できる。
理科	レポート用紙	実験の結果や考察をまとめ、3段階評価で行う。
音楽	学習プリント 練習の成果を発表	自分の考えを書く。またアドバイスをし合う。
保健 体育	学習カード	課題発見・解決・他者観察・ポイント整理ができる。
美術	ワークシート	思考の変容が読み取れる。
技術 家庭	ワークシート	思考の変容が読み取れる。
グローバル・スタディ	ワークシート ポイントカード	主体的に多くの人とコミュニケーションがとれる。
特別 支援	感想用紙 調べたことを発表	自己を振り返ることができる。

実践 検証 改善

研究推進委員会

研究の立案(研究計画等) 統括(アンケート等による分析) 推進(校内研究)

ICT部会

・ICTの環境整備・管理

・ICTの活用の研修会の企画・実施

教科部会

・検討(年間指導計画・評研究計画作成等)

・定期的な公開授業による診断(授業参観)

小中合同研修会

学習部会

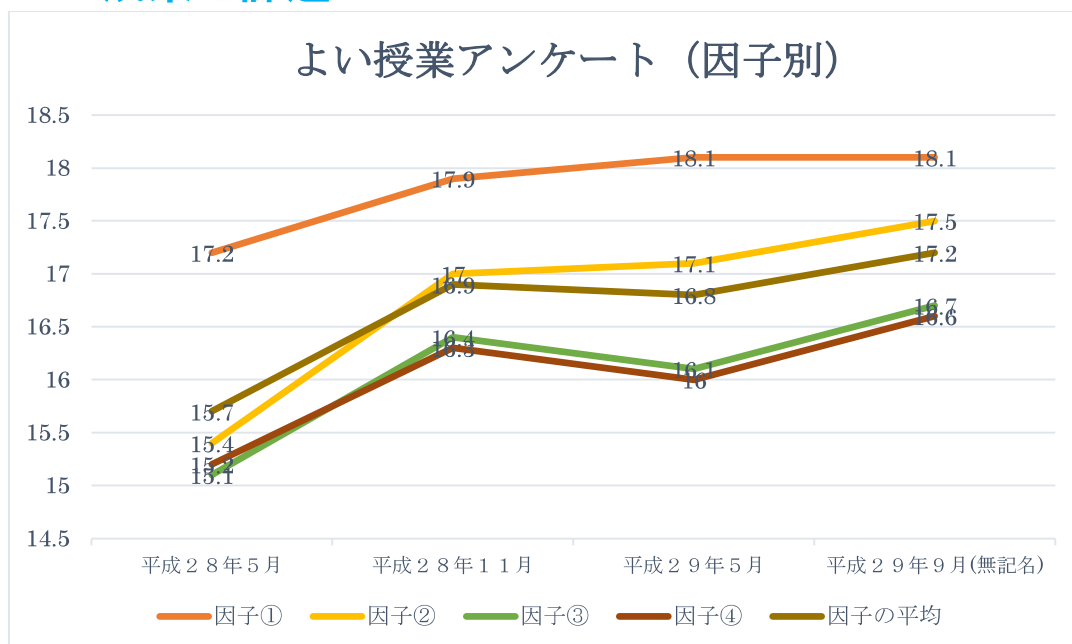
(授業時の話し合い活動)

生活部会

(時間・あいさつ)

・アクティブ・ラーニングによる授業の工夫及び改善による指導と評価の一体化
(話し合い活動・授業時の目標把握とまとめの活動)
・ICTを効果的に活用した授業実践
・小中一貫した指導の実践

成果と課題



因子①授業マネジメント・・・・・・・・授業規律にかかわる項目など、よい授業を実現するための前提条件

因子②基礎アップ・・・・・・・・基礎的・基本的な学習内容の定着のための指導

因子③授業スキル・・・・・・・・授業の際に教師が行う様々な指導上の工夫

因子④アクティブ・ラーニング・・授業における児童生徒の主体的・能動的・協働的な学習活動

成果

- (1) ICTの活用や話し合い活動を通じて、「授業がわかりやすい」と答える生徒が増えた。【よい授業アンケートより】
- (2) 自分の考えをもって、説明・発表できる生徒が増えた。
【よい授業アンケート因子④の主体的な学習に関する項目より】
- (3) 話し合い活動を通して、互いの考えを認める生徒が増えた。
【平成29年度全国学力・学習状況調査結果より】

課題

- (1) 話し合い活動を通じて、生徒がどのような力を身に付けることができたのかを実感させる取組を研究する。
- (2) ICTの効果を十分に発揮できる学習場面について、更に探求を進める。